

No. 19

経済技術協力国別資料(援助地図)

ホンデユラス

LA REPUBLICA DE HONDURAS

1989年12月

国際協力事業団
企画部地域第二課

地域三

JR

89-7

EA
3
W
ARY

国際協力事業団

20884

JICA LIBRARY



1080954191

20884

作成にあたって

この経済技術協力国別資料(援助地図)は、わが国を始め、主要援助供与国及び国際機関が、技術協力、経済協力として実施しているプロジェクトを調査しまとめたものです。

この調査においては、各援助供与国及び各援助機関が、どのような方針に基づいて援助を実施してきたかを明らかにしようと試みました。また、被援助国側が各援助供与国や国際機関別にどのような援助のあり方を期待しているかを探り、ひいてはわが国の国際協力の方向性を考えるという目的の下にこの資料を作成しました。

今回、昭和59年度から昭和61年度にかけて作成された対象国の改定版を作成しました。作成にあたっては、外務省、海外経済協力基金、JICA派遣専門家等多数の方々の御協力を得ました。ここに、本資料作成に御協力下さった皆様に改めてお礼を申し上げますと共に、今後、関係各位の御指導を得て、更に内容を充実したものとしていきたいと考えております。

平成元年12月

国際協力事業団
企画部長
河 合 正 男

● 国際機関名略称

| | | |
|--------|--|-------------------|
| AfDB | - African Development Bank | アフリカ開発銀行 |
| AfDF | - African Development Fund | アフリカ開発基金 |
| AsDB | - Asian Development Bank | アジア開発銀行 |
| CarDB | - Caribbean Development Bank | カリブ開発銀行 |
| EEC | - European Economic Communities | 欧州経済共同体 |
| FAO | - Food and Agriculture Organization | 国際連合食糧農業機関 |
| IBRD | - International Bank for Reconstruction and Development | 国際復興開発銀行(通称;世界銀行) |
| IDA | - International Development Association | 国際開発協会(通称;第二世界銀行) |
| IDB | - Inter-American Development Bank | 米州開発銀行 |
| IEA | - International Energy Agency | 国際エネルギー機関 |
| IFAD | - International Fund for Agricultural Development | 国際農業開発基金 |
| IFC | - International Finance Corporation | 国際金融公社(世界銀行グループ) |
| ILO | - International Labour Organization | 国際労働機関 |
| IMF | - International Monetary Fund | 国際通貨基金 |
| ITU | - International Telecommunication Union | 国際電気通信連合 |
| OECD | - Organization for Economic Cooperation and Development | 経済協力開発機構 |
| OPEC | - Organization of Petroleum Exporting Countries | 石油輸出国機構 |
| UNCTAD | - United Nations Conference on Trade and Development | 国連貿易開発会議 |
| UNDP | - United Nations Development Programme | 国連開発計画 |
| UNESCO | - United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization | 国連教育科学文化機関 |
| UNFPA | - United Nations Fund for Population Activities | 国連人口活動基金 |
| UNHCR | - United Nations High Commissioner for Refugees | 国連難民高等弁務官事務所 |
| UNICEF | - United Nations Children's Fund | 国際連合児童基金 |
| UNIDO | - United Nations Industrial Development Organization | 国連工業開発機関 |
| UNRWA | - United Nations Relief and Works Agency | 国連パレスチナ難民救済事業機関 |
| WFP | - World Food Programme | 国連・FAO世界食糧計画 |
| WHO | - World Health Organization | 世界保健機構 |
| WMO | - World Meteorological Organization | 世界気象機関 |

本資料は、1986年8月に発行された資料を、その後の新しい情報、資料によって内容を改定したものです。

ホンデュラスに対する 経済技術協力の概要

目次

| | | |
|-----|-----------------------|----|
| 1 | 経済・社会開発計画概要 | |
| 1-1 | ホンデュラスの概要 | 1 |
| 1-2 | 開発計画の概要 | 5 |
| 1-3 | 国家予算 | 6 |
| 2 | 経済・技術協力の推移 | |
| 2-1 | 援助活動の推移 | 7 |
| 2-2 | 最近の援助動向 | 7 |
| 3 | 主要援助国・国際機関による援助の特徴と実績 | |
| 3-1 | 主要援助国・国際機関別援助の特徴 | 15 |
| 3-2 | 主要援助国・国際機関別援助の実績 | 17 |
| 4 | わが国の経済・技術協力実施状況 | |
| 4-1 | わが国援助の特色 | 21 |
| 4-2 | 分野別経済・技術協力実施状況 | 23 |

1 経済・社会開発計画概要

1-1 ホンデュラスの概要

| | |
|-------------------------|--|
| 1) 面積 | 112,088km ² (日本の約0.3倍) |
| 2) 人口 (1987年央) | 総人口4,700千人 |
| 3) 政体 元首 | 立憲共和制 大統領: ホセ・シモン・アスコナ・オヨ (Jose Simon Azcona Oyo) |
| 4) 人種構成 | スペイン系白人の混血 91% 先住民族 6% 黒人 2% 白人 1% |
| 5) 言語 | 公用語: スペイン語 |
| 6) 宗教 | キリスト教(カソリック) |
| 7) 教育 | 成人識字率 : 57.5% (1987) 義務教育は7~13歳の6年間(初等教育) 就学率(標準就学年齢人口に対する総就学者の比率) 初等教育 : 102% (1986) 中等教育 : 36% (1986) 高等教育 : 10% (1986) |
| 8) 通貨 (1987年9月現在) | レンピラ (Lempira) 1米ドル=2.0レンピラ |
| 9) 貿易 (1987年) | 貿易額(輸出入総額) : 1,722百万米ドル 輸出額(FQB) : 827百万米ドル 主要相手国 : 米国、西ドイツ、日本、ベルギー、 中米諸国 輸入額(CIF) : 895百万米ドル 主要相手国 : 米国、日本、ヴェネズエラ、中米諸国 |
| 10) 外貨準備高 (1987年) | 114百万米ドル |
| 11) 対外公的債務残高 (1987年) | 3,303百万米ドル |
| 12) 債務返済比率 (1987年) | 対GNP比 : 6.0% 対輸出比 : 23.0% |
| 13) G N P (1987年) | 3,800百万米ドル 一人当たり810米ドル |
| 14) 年平均インフレ率 | 4.9% (1980-87) |
| 15) 会計年度 | 1月1日~12月31日 |

| | |
|-------------------------------|--|
| <p>16) 援助要請のための 国内手続き</p> | |
| <p>17) 略 史</p> | <p>1502 コロンブスにより発見 1520 スペイン領となる 1539 グアテマラ総督領に編入 1821.9 独立達成 1824 中米諸州連合の一員となる 1831 共和国として独立 1871 グアテマラと国境紛争 1894 ニカラグアと国境紛争 1907 ニカラグアと国境紛争 1932 ティブルシオ・カリアス将軍、大統領就任 1936 民主憲法成立 1956 軍事クーデター 1969 エル・サルヴァドルと「サッカー戦争」 1971 民政移管 1972 軍事クーデター 1982.1 スアソ・コルドバ大統領就任、民政移管 1986.1 ホセ・アスコナ大統領就任 1986.7 コントラへ領土を提供しているとして、ニカラグアが国際司法裁判所へ提訴 1988.3 ニカラグア政府軍が侵入、米軍が派遣される</p> |

[注] 中南米地域に含まれる地域：アルゼンティン、バハマ、バルバドス、ボリヴィア、ブラジル、チリ、コロンビア、コスタリカ、キューバ、ドミニカ、ドミニカ共和国、エクアドル、エル・サルバドル、グレナダ、グアテマラ、ガイアナ、ハイティ、ホンデュラス、ジャマイカ、メキシコ、ニカラグア、パナマ、パラグアイ、ペルー、スリナム、セントルシア、セントビンセント・グレナディーン、トリニダッド・トバゴ、ウルグアイ、ヴェネズエラ

出典：外務省、OECD、世銀およびJICA現地事務所資料

図1 概要図

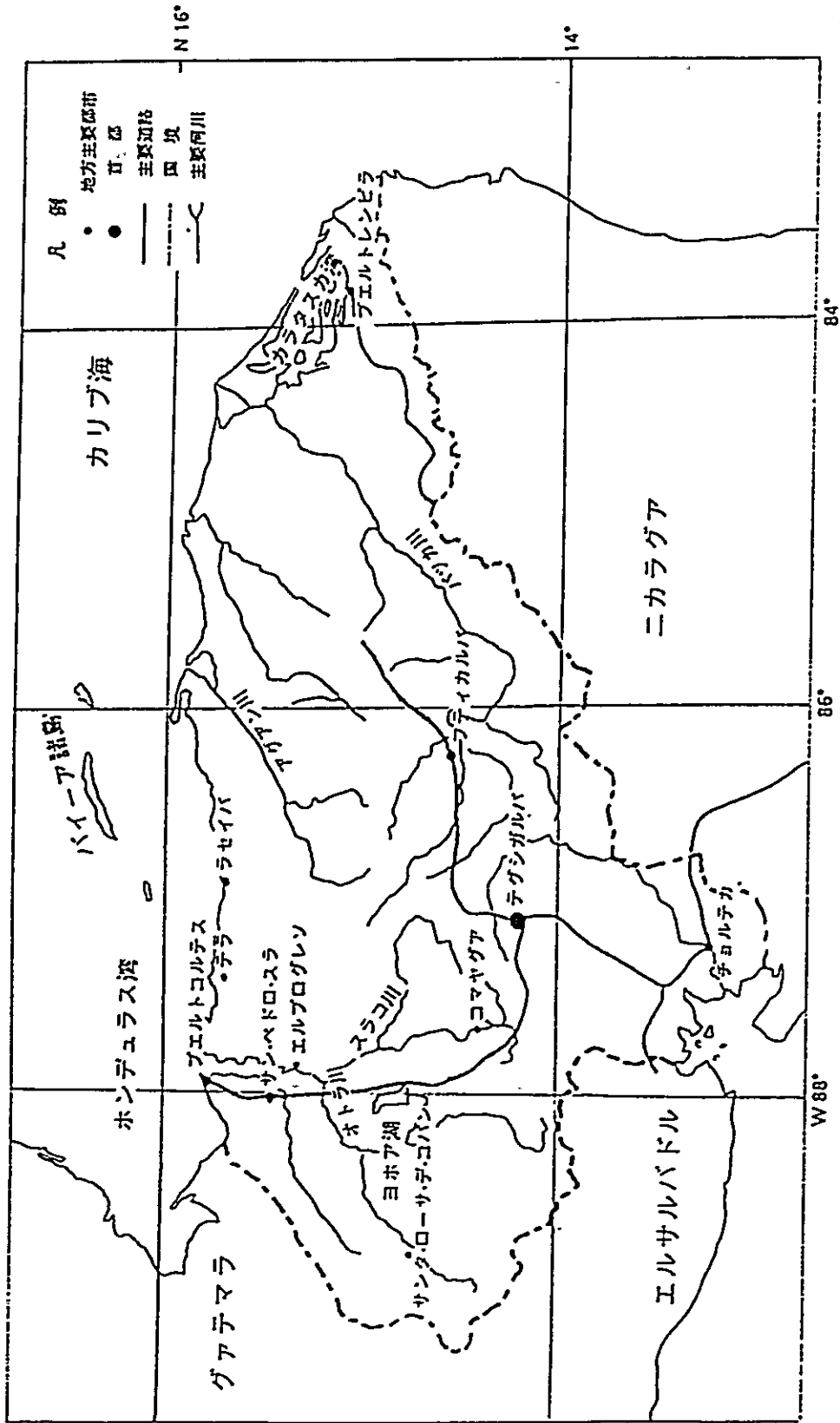
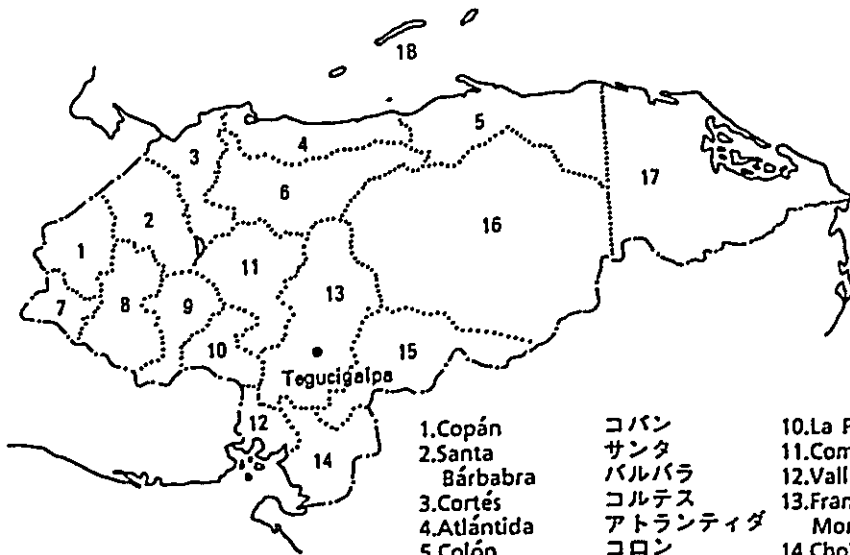


図2 位置図



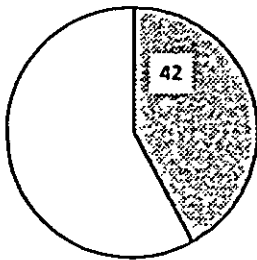
図3 行政区分図

*下記区分は県を示す。



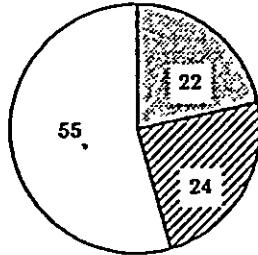
- | | | | |
|------------------|---------|-----------------------|--------------|
| 1. Copán | コパン | 10. La Paz | ラパス |
| 2. Santa Bárbara | サンタバルバラ | 11. Comayagua | コマヤグア |
| 3. Cortés | コルテス | 12. Valle | バジェ |
| 4. Atlántida | アトランティダ | 13. Francisco Morazán | フランシスコモラザン |
| 5. Colón | コロン | 14. Choluteca | チョルテカ |
| 6. Yolo | ヨロ | 15. El Paraíso | エルパライソ |
| 7. Ocotepeque | オクテベケ | 16. Olancho | オランチョ |
| 8. Lempira | レンピラ | 17. Gracias a Dios | グラシアス アディオス |
| 9. Intibuca | インティブカ | 18. Islas De La Bahía | イスラス・デ・ラ・バイア |

図4 都市化率 (%)



注) 総人口に占める都市人口の比を示す。ただし都市人口の定義は国によって異なる。

図5 生産の構造 (%)
一部門別GDP比率一



- | | | |
|--|--------|-----------------------|
| | 農業部門 | 農林水産業、狩猟 |
| | 工業部門 | 鉱業、製造業、建設業、電気・水道・ガス事業 |
| | サービス部門 | 上記2部門以外の全ての経済活動 |

(出典: World Development Report 1989, World Bank)

1-2 開発計画の概要

1-2-1 既往の開発計画

| | | |
|---------|------------|-----------|
| ・公共投資計画 | 1970~1974年 | クルス文民政権 |
| ・国家開発計画 | 1974~1978年 | メルガール軍事政権 |
| ・国家開発計画 | 1979~1983年 | ガルシア軍事政権 |
| ・国家開発計画 | 1982~1986年 | スアソ文民政権 |
| ・国家開発戦略 | 1986~1989年 | スアソ文民政権 |
| ・国家開発計画 | 1987~1990年 | アスコーナ文民政権 |

1-2-2 現行開発計画(国家開発計画:1987~1990年)

【開発目標】

- ① 生産要素を活用して、調和のとれた経済成長を図る。
- ② 成長コストを最小限に抑えて、資源の利用効率を高める。
- ③ 社会的公正という観点から成長の成果を分配する。
- ④ 国内貯蓄を促し、自力で国家目標に到達する。
- ⑤ 雇用を拡大し、労働生産性を向上させる。
- ⑥ 国民の基本的要求を満たす。
- ⑦ 国家の文化的独自性を確立する。
- ⑧ 組織的な社会参加を促し、民主制度を実施する。
- ⑨ 地方の統合を含む国土の総合開発を図る。

【開発投資政策】

- ① 計画期間中、民間投資は年平均18.0%、公共投資は年平均2.7%の伸びを見込む。
- ② 国内投資の主体を民間投資に置き、政府は中小投資家の保護を行う。
- ③ 個人消費の上昇を抑え、奢侈品生産を回避しながら民間投資を奨励する。
- ④ 公共投資は一定水準の維持を図り、民間と競合する分野の国営企業は民間へ移行させる。
- ⑤ 不足する国内資金を補うため、優遇条件の国外借款を導入して、公共・民間部門への投融資を行うと同時に、外国の直接投資を奨励する。

【マクロ指標】

計画期間中GDPの成長率目標は年平均4.5%であり、その内訳は農業が4.2%、製造業3.8%、建設業6.5%、サービス業6.6%である。

表1 GDPの産業部門別成長率目標

単位: 1986年を100とする

| 産業部門 | 1986年 | 1987年 | 1988年 | 1989年 | 1990年 | 年平均成長率 |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|
| 農業 | 100 | 104.0 | 108.1 | 112.4 | 116.9 | 4.2% |
| 製造業 | 100 | 102.4 | 106.4 | 110.7 | 115.3 | 3.8% |
| 建設業 | 100 | 107.6 | 113.7 | 121.4 | 126.0 | 6.5% |
| サービス業 | 100 | 106.9 | 113.1 | 119.2 | 126.3 | 6.6% |
| 政府 | 100 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 100.0 | 0% |
| 国営企業 | 100 | 104.0 | 108.0 | 112.7 | 117.3 | 4.3% |
| G D P | 100 | 104.4 | 108.7 | 113.2 | 118.0 | 4.5% |

(出典: SINTESIS DEL PLAN NACIONAL DE DESARROLLO 1987-1990)

1-3 国家予算

表2 公共投資計画

単位: 100万レンピラ

| | 1987-90 合計 | 構成比 % |
|-------|---------------|----------|
| 農業 | 818.7 | 23.8 |
| 林業 | 50.1 | 1.5 |
| 漁業 | 54.9 | 1.6 |
| 鉱業 | 3.6 | 0.1 |
| 製造業 | 149.1 | 4.3 |
| エネルギー | 213.5 | 6.2 |
| 運輸業 | 897.7 | 26.2 |
| 通信業 | 131.7 | 3.8 |
| 観光業 | 84.9 | 2.5 |
| 教育 | 110.3 | 3.2 |
| 保健・医療 | 723.5 | 21.0 |
| 住宅 | 111.0 | 3.3 |
| 都市開発 | 83.2 | 2.5 |
| 計 | 3432.2 | 100.0 |

(出典: SINTESIS DEL PLAN NACIONAL DE DESARROLLO 1987-1990)

表3 1988年度予算

単位: 100万レンピラ

| | 金額 | 構成比 % |
|-----------|--------|----------|
| 立法府 | 27.7 | 1.4 |
| 司法省 | 22.2 | 1.1 |
| 選挙委員会 | 20.0 | 1.0 |
| 大統領府 | 14.6 | 0.7 |
| 内務法務省 | 32.4 | 1.6 |
| 外務省 | 22.5 | 1.1 |
| 国防省 | 150.0 | 7.4 |
| 経済省 | 16.2 | 0.8 |
| 大蔵省 | 40.9 | 2.0 |
| 検察庁 | 1.7 | 0.1 |
| 文部省 | 402.9 | 20.0 |
| 厚生省 | 234.0 | 11.6 |
| 文化観光省 | 6.4 | 0.3 |
| 労働省 | 25.5 | 1.3 |
| 運輸公共事業通信省 | 188.4 | 9.3 |
| 天然資源省 | 101.7 | 5.0 |
| 経済企画省 | 21.5 | 1.1 |
| 債務返済 | 617.0 | 30.7 |
| 政府合同サービス | 70.2 | 3.5 |
| 計 | 2015.7 | 100.0 |

(出典: LA GACETA)

2 経済・技術協力の推移

2-1 援助活動の推移

ODA全体 長年にわたる政治的混乱のため、中南米諸国の中ではハイティ、ポリヴィアと並んで、最も経済開発の遅れている国の一つである。経済は農林業を中心とするモノカルチャー型であり、農業部門がGDPの約1/4、労働人口の半分以上を占めている。

1980年代初頭、石油価格の高騰、バナナ、木材等の輸出価格の低落、周辺国向けの輸出の落ち込みにより経済成長率が低下し、1982年、83年にはマイナス成長となったが、1984年にはコーヒー、バナナ等の輸出価格の上昇およびエル・カホン・ダム建設に伴う公共投資の増大により経済は回復した。その後、年間3~4%の経済成長が続いているが財政赤字、対外収支状況の悪化が大きな問題となってきた。1987年には世銀の支援をえて経済調整計画(1987年~89年)が実施に移された。

ODAは1982年から米国の無償資金協力を中心に急激に増加し、1984年以降は3億ドル近いレベルで推移している。

援助主体別 DAC諸国は1987年支出総額で2億2,251万ドルのODAを供与しており主要な供与国は米国(シェア69%)、日本(16%)、西ドイツ(5.7%)である。

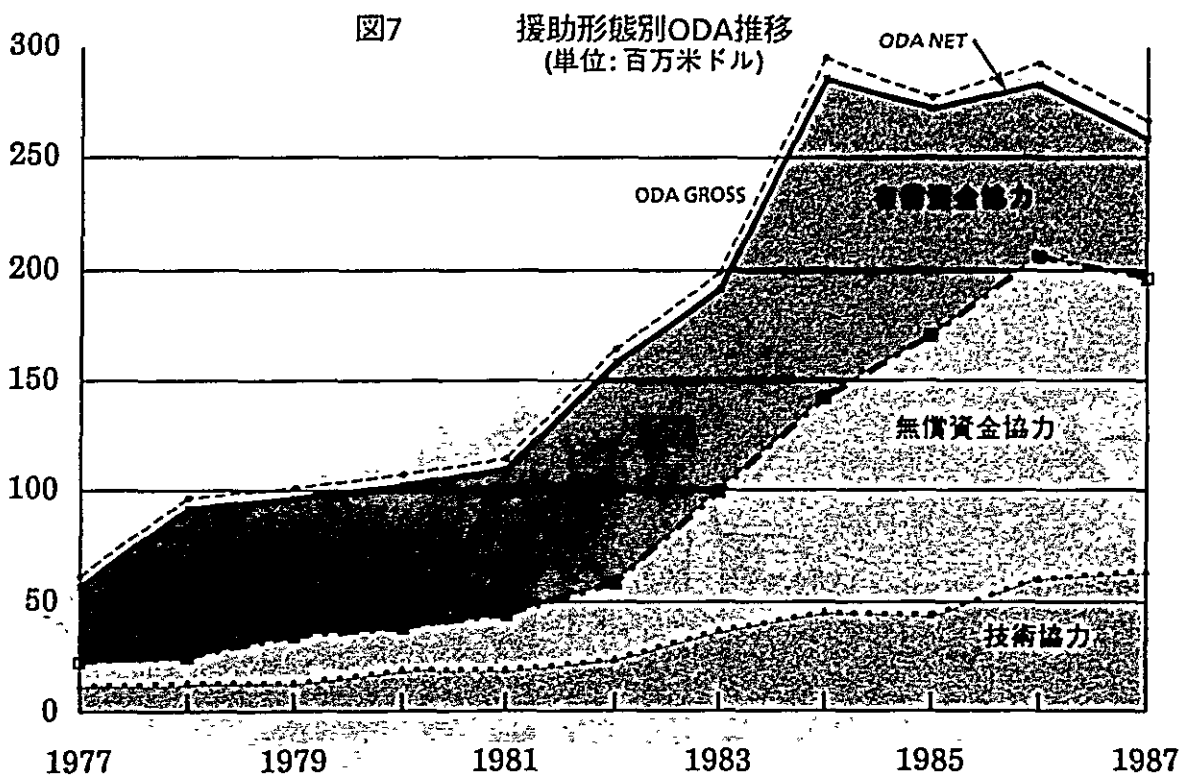
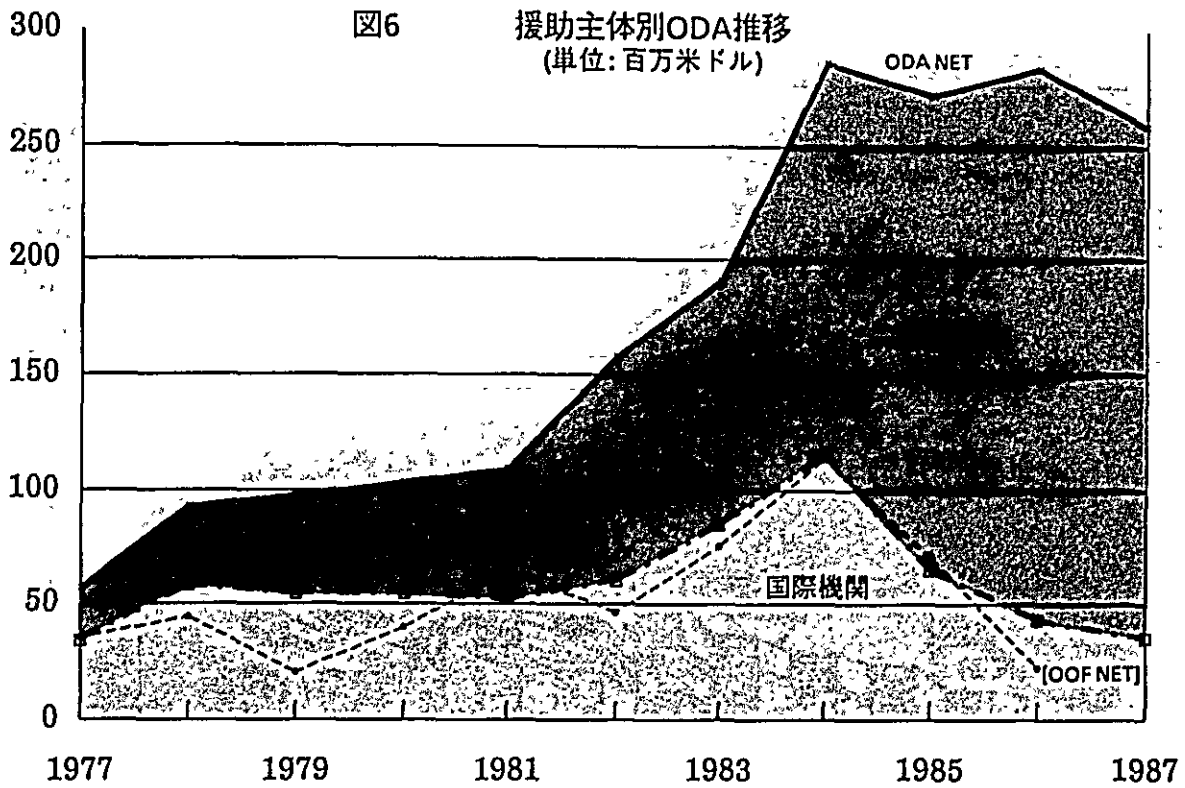
国際機関からのODAは1987年支出総額で3,589万ドルであり、UNHCR、WFP、E.E.C.などが主要援助機関である。

援助形態別 1982年からのODAの急増は、それまで技術協力と同じ程度の規模しかなかった無償資金協力の増加が原動力になっており、1984年以降の無償資金協力は1億ドルを越す規模になっている。

技術協力は他の多くの非援助国と同様に、少しずつではあるが継続して増加してきている。

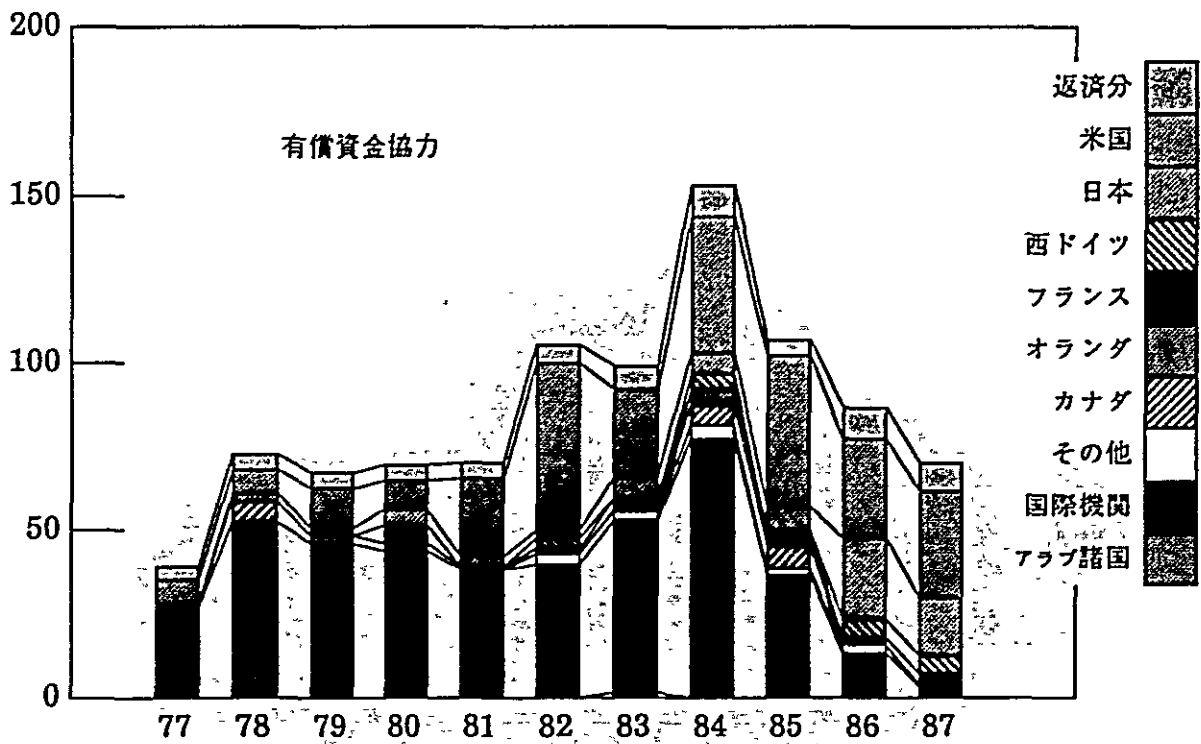
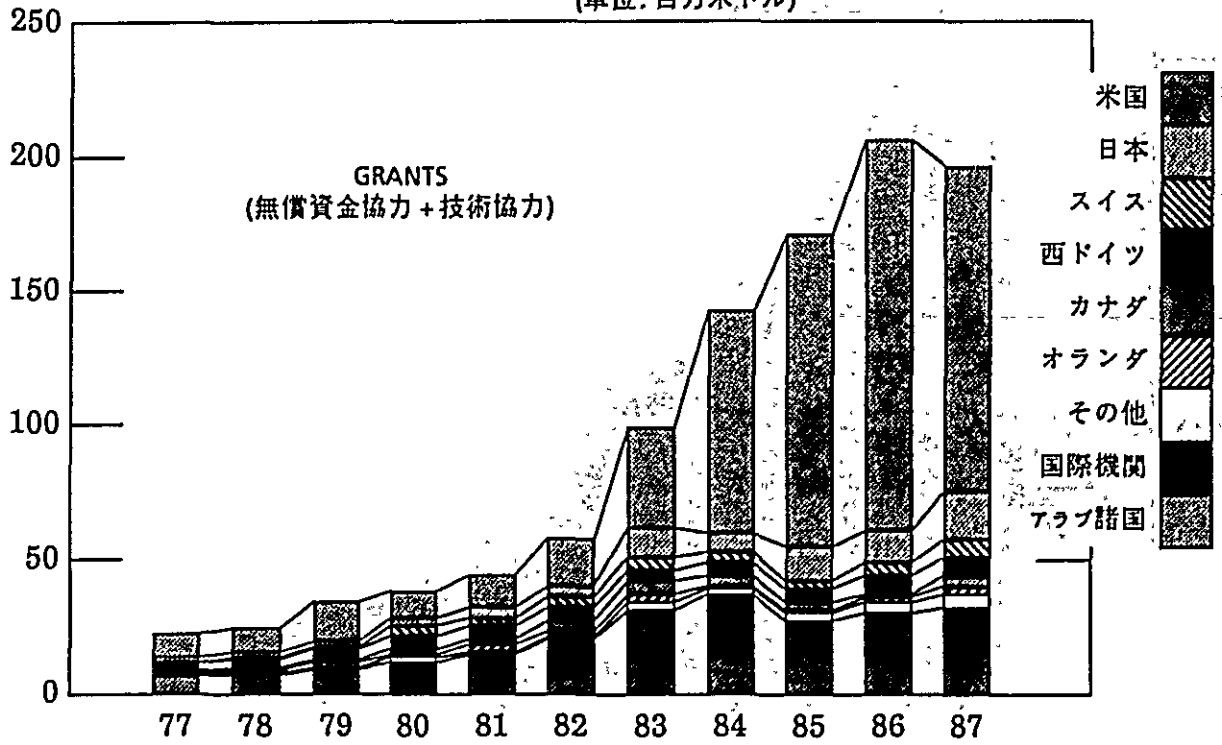
2-2 最近の援助動向

近年の援助形態別シェアの推移を見ると技術協力と無償資金協力が伸びている一方で、1984年からはIDBによる有償資金協力の額が大幅に減少し、そのためODA全体に占める有償資金協力のシェアがしだいに縮小し、1987年には24%になっている。



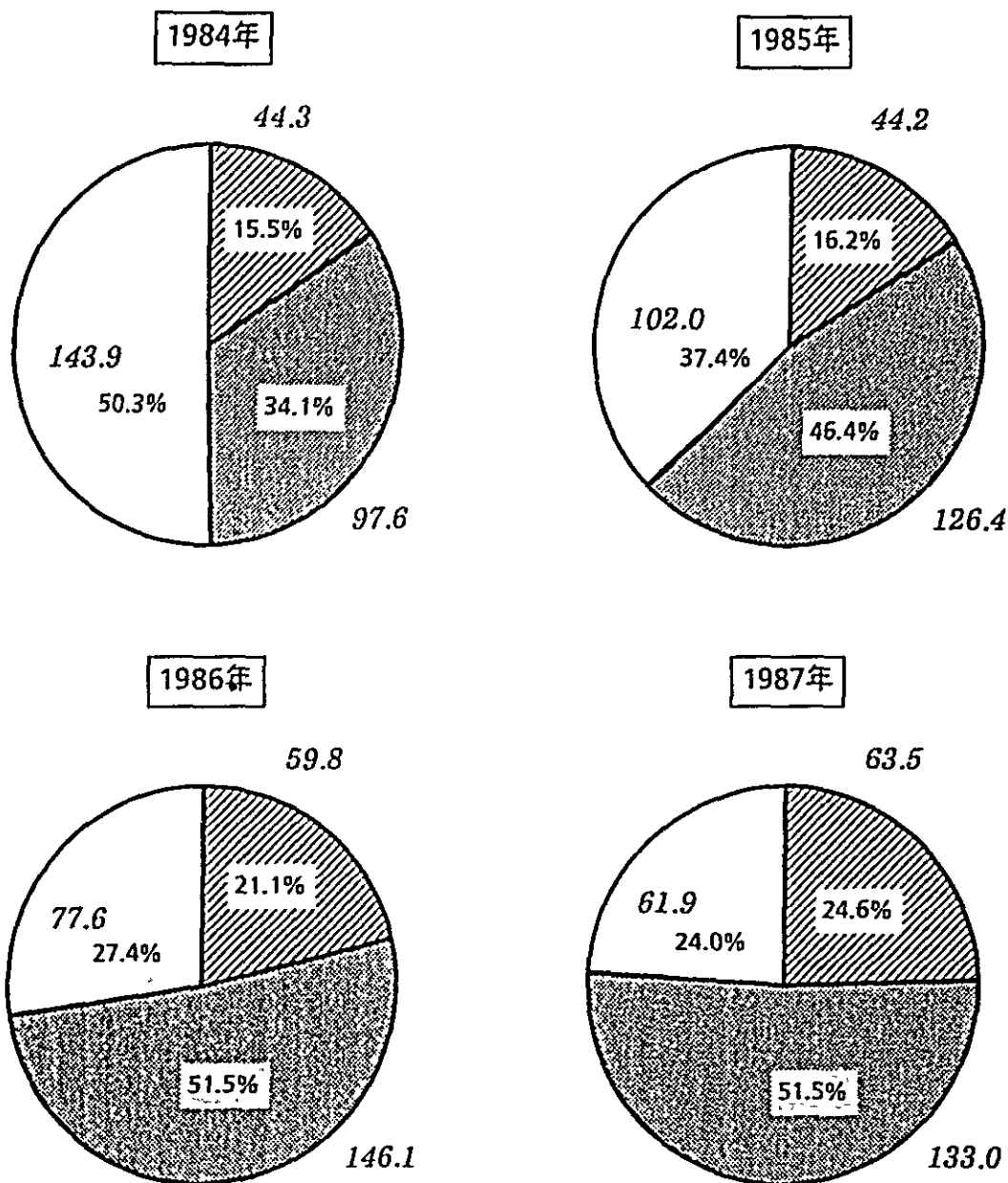
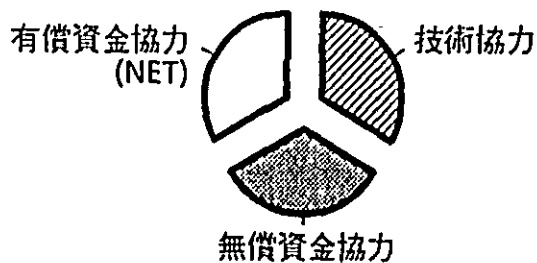
(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1978~1989)

図8 援助形態別、主要援助国および国際機関の援助額推移
(単位:百万米ドル)



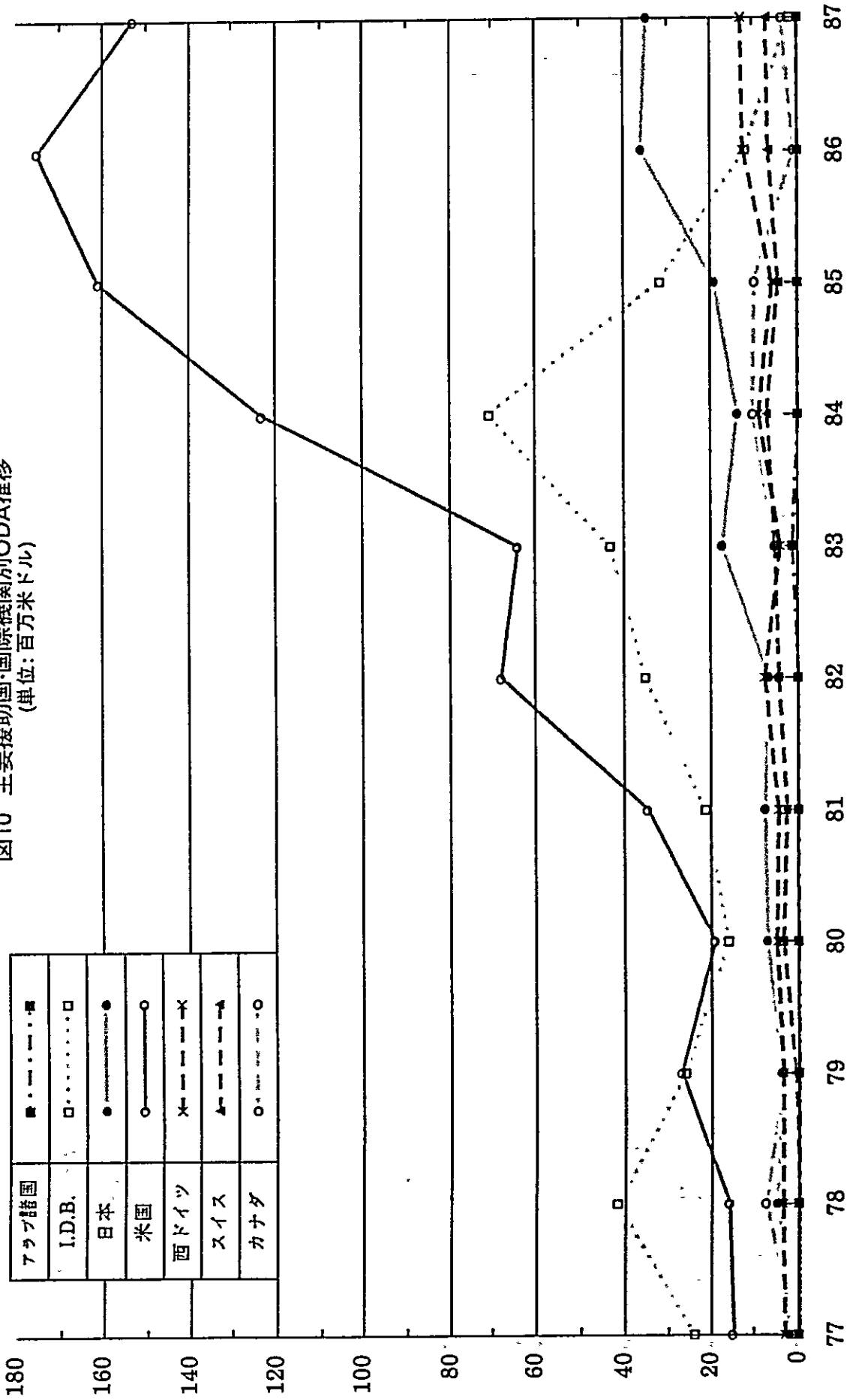
(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1978~1989)

図9 援助形態別ODAのシェア
(単位:百万米ドル)



(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

図10 主要援助国・国際機関別ODA推移
(単位: 百万米ドル)



(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1977-1989)

図11 年表

| 1978 | 1979 | 1980 | 1981 | 1982 | 1983 | 1984 | 1985 | 1986 | 1987 |
|---|------|---|---|--|--|------|------|--|------|
| <ul style="list-style-type: none"> 選挙法制定 | | <ul style="list-style-type: none"> 制憲議会選挙 | <ul style="list-style-type: none"> 憲法公布 | <ul style="list-style-type: none"> 新選挙法制定 大統領選挙 | | | | | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> パス、ガルシア暫定大統領就任 スアソ、コルドバ大統領就任(民政移行) | <ul style="list-style-type: none"> エルビル、シエラ外務大臣訪日 日本・ホンデューラス友好議員連盟設立 プロヒロン国会議長訪日 山下惣夫特派大使訪日 | <ul style="list-style-type: none"> パス、バルニカ外務大臣訪日 コルレト大蔵大臣訪日 フロレス経済企画庁長官訪日 北川石松外務政務次官訪日 山下惣夫衆議院議員訪日 パス、バルニカ外務大臣訪日 | <ul style="list-style-type: none"> パス、バルニカ外務大臣訪日 奥田敬和特派大使訪日 カステイリヨ国会副議長訪日 有田JICA総裁訪日 | | | <ul style="list-style-type: none"> ホセ・アスコナ大統領就任 全国開発計画 | |
| | | <ul style="list-style-type: none"> エル・サルヴァドルと平和条約調印 | <ul style="list-style-type: none"> 米国の協力により軍事訓練センター設立 | <ul style="list-style-type: none"> ニカラグア、ホンデュラスを国際司法裁判所に提訴 グアテマラ和平合意文書署名 エル・サルヴァドルとの国境問題を国際司法裁判所に付託 | | | | | |

●ホンデュラスにおける主な出来事

●日本との関係

●主要援助国との関係

図12 ホンデュラスへのODA
(単位:百万米ドル)

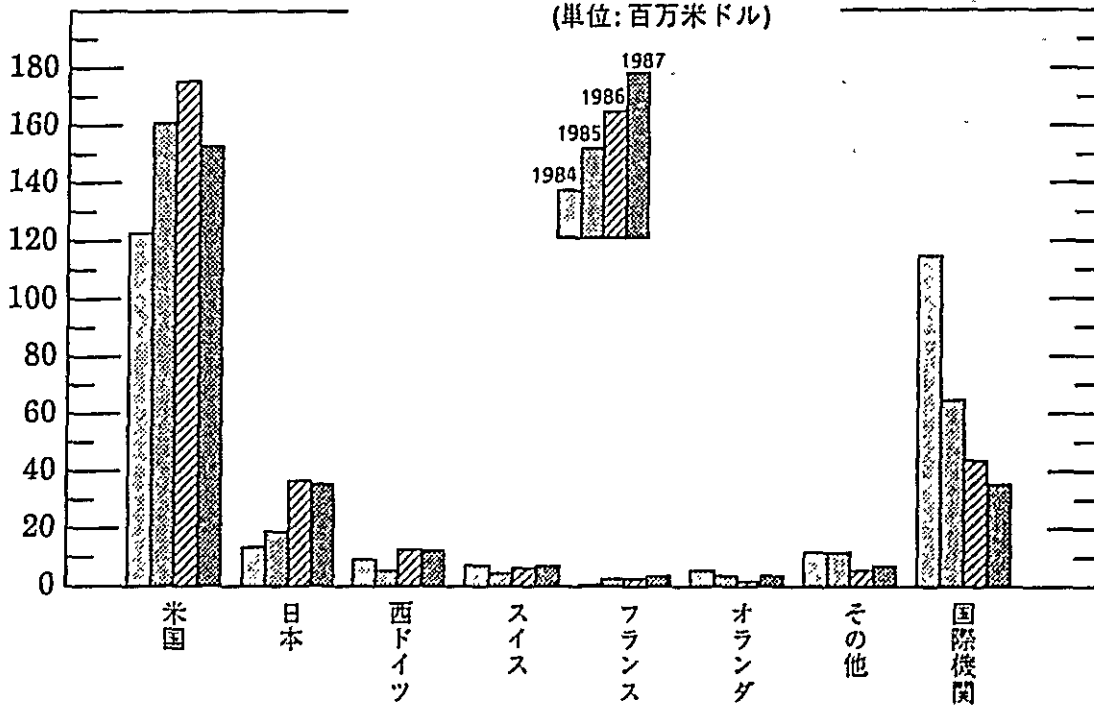
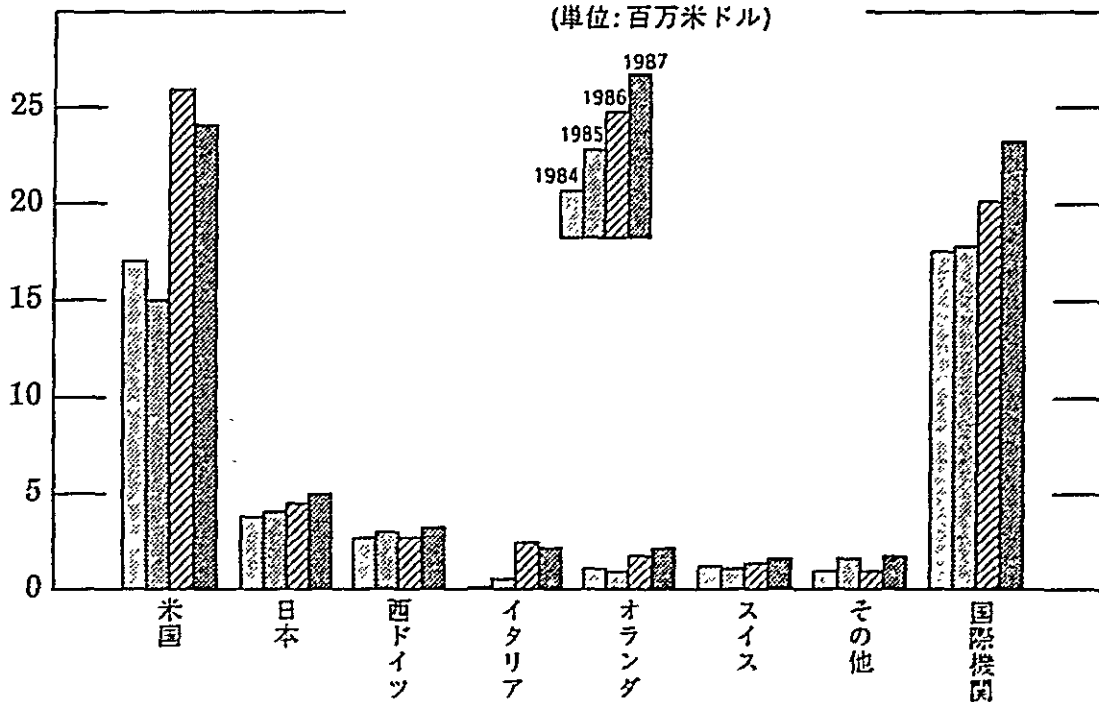


図13 ホンデュラスへの技術協力
(単位:百万米ドル)



(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

図14 ホンデュラスへの無償資金協力
(単位:百万米ドル)

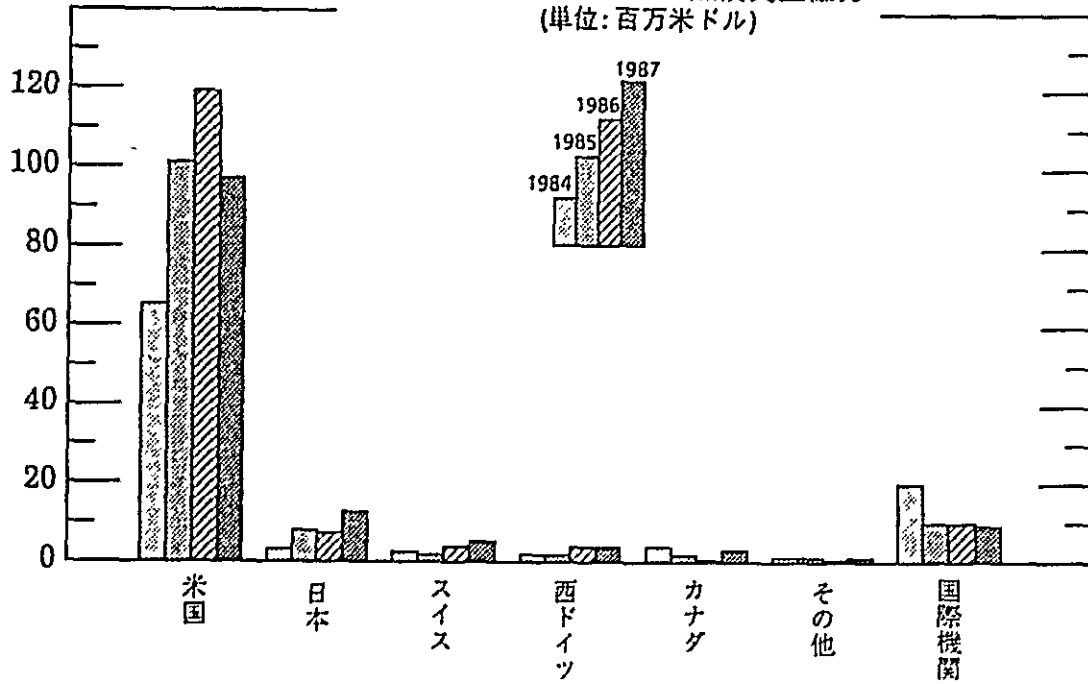
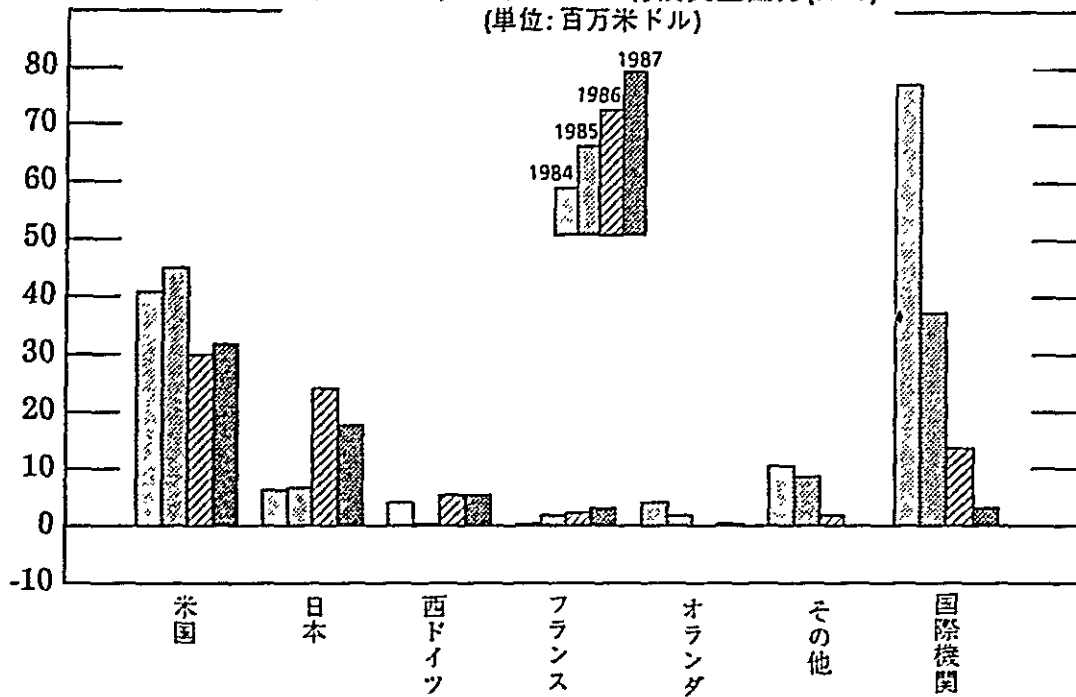


図15 ホンデュラスへの有償資金協力(NET)
(単位:百万米ドル)



(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

3 主要援助国・国際機関による援助の特徴と実績

3-1 主要援助国・国際機関別援助の特徴

— ODA
 - - - OOF
 グラントエレメント

【米国】

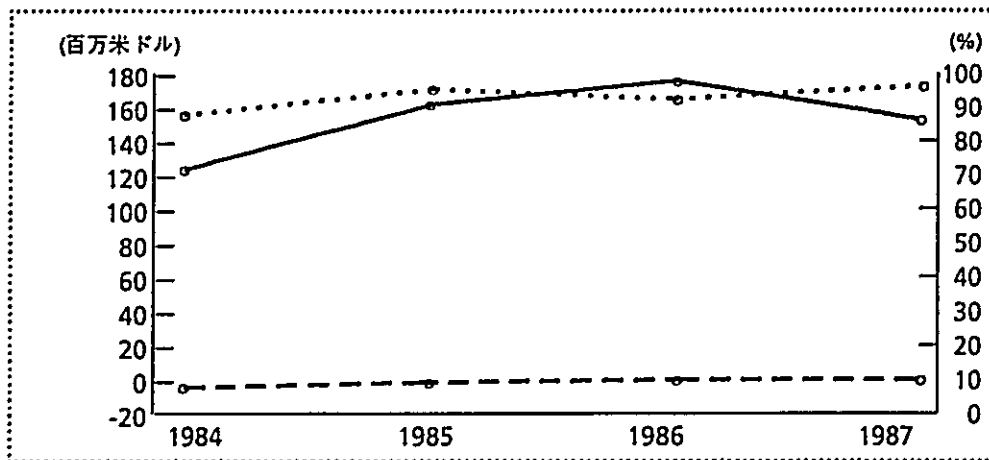


図16 米国の対ホンデュラスODA、OOFおよびグラントエレメント
 (出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

有償、無償それに技術協力と、どの形態を見ても群を抜いて米国が最大の援助国である。天然資源、農業、保健・医療等多岐にわたる援助を実施している。

【西ドイツ】

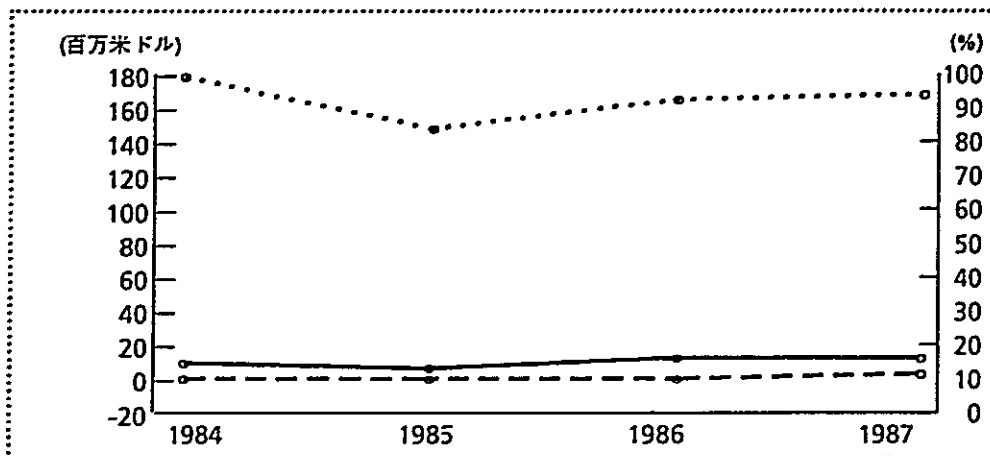


図17 西ドイツの対ホンデュラスODA、OOFおよびグラントエレメント
 (出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

1,000万ドル規模のODAを継続して供与している。農業、住宅関連分野への比重が大きい。

【スイス】

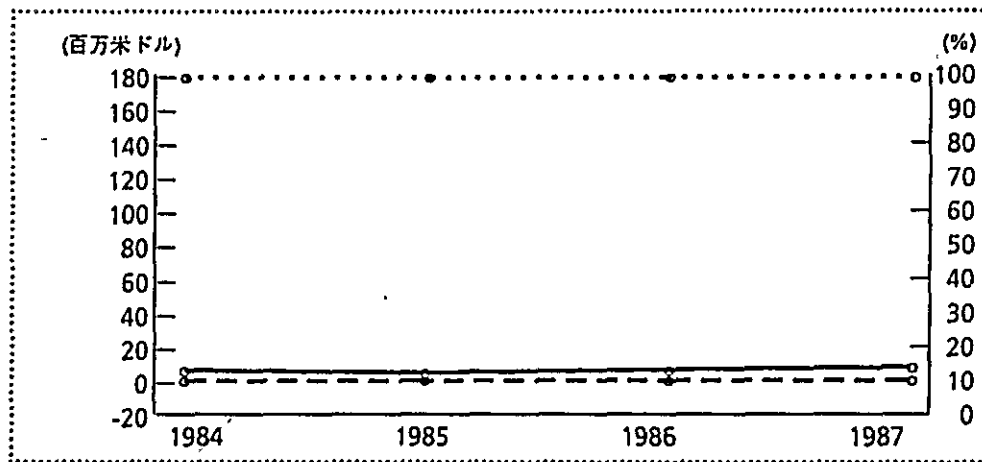


図18 スイスの対ホンデュラスODA、OOFおよびグラントエレメント
(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

数百万ドル規模で継続しているスイスのODAはグラントエレメントが100%である。

【I.D.B.】

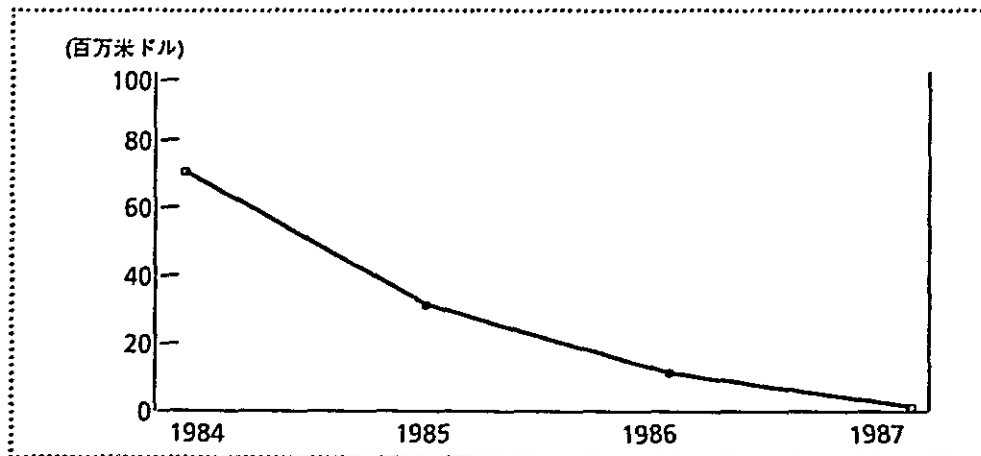


図19 I.D.B.の対ホンデュラスODA
(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1989)

近年、金額、シェアとも大きく減少している。協力分野は、運輸・通信、保健・医療への案件が多い。

3-2 主要援助国・国際機関別援助の実績

表4 米国の主要プロジェクト

| プロジェクト名・概要 | サイト | 期間 | 供与金額 (千米ドル) | 備考 |
|--|-----|---------------|----------------|----------------------------------|
| 522-0283 Servicios para la Estabilización Económica - 開発一般のための民間金融支援 | - | 1985 | 208,748 | 【無償資金協力】 |
| 522-IIG-008 Vivienda Popular Urbana II - 3万戸の住宅建設 | - | - | 35,000 | 【ローン】 10年据置き 40年返済 利率2% |
| 522-0273 Eficiencia de la Educación Primaria - 地方の初等教育の充実 | - | 1986~ 1990 | 22,000 | 【技術協力】 |
| 522-0249 Fundación Hondureña de Investigación Agrícola (FHIA-Fundación Hondureña de Investigación Agrícola) - 農耕技術の調査 | - | 1984~ 1994 | 20,000 | 【技術協力】 |
| 522-0166 Sistema de Agua y Saneamiento Rural - 地方の上水道と環境衛生整備 | - | 1980 | 19,000 | 【ローン】 10年据置き 40年返済 利率2% |
| 522-0176 Mejoramiento Cafetalero para Pequeños Cafetaleros - 零細コーヒー農園の支援 | - | 1981 | 16,000 | 【ローン】 10年据置き 40年返済 利率2% |
| 522-0207 Desarrollo y Servicios para la Exportación - 輸出の振興 | - | 1985 | 16,000 | 【ローン】 10年据置き 40年返済 利率2% |
| 522-0153 Sector Salud I - 保健・医療分野への支援 | - | 1980 | 15,652 | 【ローン】 10年据置き 40年返済 利率2% |
| 522-0268 Proyecto de Irrigación - 灌漑 | - | 1986 | 14,500 | 【ローン】 10年据置き 40年返済 利率2% |
| 522-0168 Manejo de Recursos Naturales - 天然資源管理のための支援 | - | - | 12,252 | 【ローン】 10年据置き 40年返済 利率2% |

(出典: COOPERACION PARA EL DESARROLLO 1988 UNDP)

表5 西ドイツの主要プロジェクト

| プロジェクト名・概要 | サイト | 期間 | 供与金額 (千米ドル) | 備考 |
|---|-----------------------|---------------|----------------|-------------------------------------|
| Cooperación Hondureño Alemana de Alimentos por Trabajo (COHIAAT-Coopración Hondureño-Alemana de Alimentos por Trabajo) - 地方農村のインフラ整備 | Choluteca, Morazán | 1975~ 1989 | 21,050 | 【技術協力】 |
| FACACHI(Federación de Asociaciones Cooperativas de Ahorro y Crédito de Honduras) Promoción de Cooperativas Agrícolas - 農業開発 | — | 1977~ 1988 | 8,000 | 【技術協力】 |
| Programa de Vivienda Mínima Rural - 地方の住宅建設及び環境衛生整備 | — | 1983 | 6,706 | 【ローン】 10年据置き 50年返済 利率0.75% |
| Programa Integral de Mejoramiento Habitacional - 住宅事情の改善 | — | — | 5,294 | 【ローン】 10年据置 50年返済 利率0.75% |
| Programa Sanitario Físico del Valle de Choluteca - 地域保健への支援 | Choluteca | — | 4,491 | 【ローン】 10年据置き 50年返済 利率0.75% |
| Electrificación Santa Rosa - 地域電化計画 | Santa Rosa | 1985 | 3,908 | 【ローン】 10年据置き 50年返済 利率0.75% |
| Formulación y Ejecución Pequeños y Medianos Proyectos Agrícolas y Agroindustriales - 農業、農産品加工業案件への支援 | — | 1982~ 1989 | 3,200 | 【技術協力】 |
| GTZ(Corporación de Asistencia Técnica-RFA)/INFOP(Instituto Nacional de Formación Profesional-GdelH) PN 78.2070.7 - 専門技能者養成のための支援 | San Pedro Sula | 1982~ 1989 | 2,350 | 【技術協力】 |
| Electrificación Ocotepeque - 地域電化計画 | Ocotepeque | 1986 | 2,303 | 【ローン】 |

(出典: COOPERACION PARA EL DESARROLLO 1988 UNDP)

表6 スイスの主要プロジェクト

| プロジェクト名・概要 | サイト | 期間 | 供与金額 (千米ドル) | 備考 |
|---|---|---------------|----------------|-----------------|
| HON/61/31 Promoción y Desarrollo de Exportaciones, Fase II -家具、生花、造花等の輸出振興 | San Pedro Sula, Tegucigalpa, Sabanagrande | 1987~ 1989 | 954 | 【技術協力】 専門家派遣 |
| HON/61/20 Promoción y Desarrollo de Exportaciones -輸出振興のための生花市場調査 | San Pedro Sula, Tegucigalpa | 1984~ 1986 | 657 | 【技術協力】 専門家派遣 |
| HON/FD/1 -難民救済 | Mosquitia | 1987 | 76 | 【技術協力】 |

(出典: COOPERACION PARA EL DESARROLLO 1988 UNDP)

表7 I.D.B.の主要プロジェクト

| プロジェクト名・概要 | サイト | 期間 | 供与金額 (千米ドル) | 備考 |
|--|-------------------------|------|------------------|--|
| 130/IC-HO Proyecto Hidroeléctrico El Cajón ENEE (Empresa Nacional de Energía Eléctrica-GdeH) -水力発電所の建設 | Río Humuya de Comayagua | 1984 | 90,000 | 【ローン】 2年返済 利率8~9% |
| 799/SF-HO Rehabilitación del Sistema de Agua Potable de Tegucigalpa (SANAA-Servicio Nacional de Acueductos y Alcantarillados-GdeH) -飲料水供給システムの整備 | Tegucigalpa | 1986 | 54,000 | 【ローン】 10年返済 利率2% |
| H0-0037 Rehabilitación de Carreteras I -車道204kmの整備 | - | 1988 | 30,000 | 【ローン】 |
| H0-0039 Programa Infraestructura Urbana Municipalidad -バスターミナル等の建設 | - | 1988 | 30,000 | 【ローン】 |
| 790/SF-HO, 20511-C-HO Caminos Secundarios Vecinales y de Acceso-SECOPT (Ministerio de Obras Públicas, Comunicaciones y Transporte GdeH) -人力による道路建設の支援 | - | 1987 | 26,000 26,400 | 【ローン】 10年据置き 40年返済 利率1~2% 25年返済 利率不確定 |
| 606/SF-HO Construcción y Mejoramiento Caminos Vecinales- SECOPT (Ministerio de Obras Públicas, Comunicaciones y Transporte GdeH) -生活道路の建設 | Santa Rita, Yoro | 1980 | 27,400 | 【ローン】 10年返済 利率2% |
| 791/SF-HO Programa Terminación y Puesta en Marcha de Hospitales (MSP-Ministerio de Salud Pública y Asistencia Social-GdeH) -5病院の建設 | - | 1986 | 27,080 | 【ローン】 10年返済 利率2% |
| 779/SF-HO Construcción de Acueductos Rurales Tercera Etapa (SANAA-Servicio Nacional de Acueductos y Alcantarillados-GdeH) -水道180、貯水槽150の建設 | - | 1986 | 24,800 | 【ローン】 10年返済 利率2% |
| 175/IC-HO Carretera La Ceiba-Sabá-Corocito (SECOPT-Ministerio de Obras Públicas, Comunicaciones y Transporte GdeH) -車道138kmの整備 | - | 1986 | 22,000 | 【ローン】 20年返済 利率8~9% |
| 692/SF-HO Expansión y Mejoramiento de la Educación Técnica Media (MEP-Ministerio de Educación Pública -GdeH) -中等技術教育の拡充強化 | - | 1983 | 20,000 | 【ローン】 10年返済 利率2% |

(出典: COOPERACION PARA EL DESARROLLO 1988 UNDP)

4 わが国の経済・技術協力実施状況

4-1 わが国援助の特色

(1) ODA総論

我が国は、ホンデュラスの一人当たりGNPが800ドル前後と、中南米諸国の中でもかなり貧しい国の一つであり、我が国のODAに対する期待が強いことに鑑み資金協力、技術協力の両面で協力を行っている。1970年代には技術協力が中心的な位置を占めていたが、80年代に入り無償資金協力及び有償資金協力が増加し現在は援助の主力となっている。ODA総額は近年増加の傾向にあり、1986年、87年には3,500万ドルを超えた。

1988年度までの我が国援助の交換公文ベース累計で見ると、ホンデュラスは中南米諸国中第7位であり、無償資金協力では第2位となっている。

(2) 無償資金協力

ホンデュラスに対する無償資金協力は、1975年に交換公文が締結されたKR食糧援助(1.68億円)に始まる。一般無償、文化無償、食糧増産援助等、1988年までに計30件、総額で149.23億円が供与されている。一般無償協力では農村・農業開発、保健・医療分野のプロジェクトが実施されている。

(3) 技術協力

研修員の受入は、通信・放送や社会インフラストラクチャー、保健・医療、文化・教育などの分野における実績が高く、専門家の派遣については、農林水産、鉱工業などの分野が多くなっている。開発調査や資源開発調査なども盛んに行われており、技術協力プロジェクトとしては、「アグアン川流域開発計画」、「 Cholteca川流域農業開発計画補完調査」などが実施された。また、1975年から開始された青年海外協力隊の派遣も盛んに行われており(1988年度までの累計で337名)、中南米諸国中最大の規模となっている。また、1983年度からは「農業開発研修センター」に対するプロジェクト方式技術協力も行っている。

(4) 有償資金協力

ホンデュラスに対する有償資金協力は、1979年に交換公文が締結された「エル・カホン水力発電」(世銀及びIDBとの協調融資、78億円)に始まって以来、水力発電、電気・通信、道路整備、農業開発の分野で計5件、総額約271億円の協力を行っている。

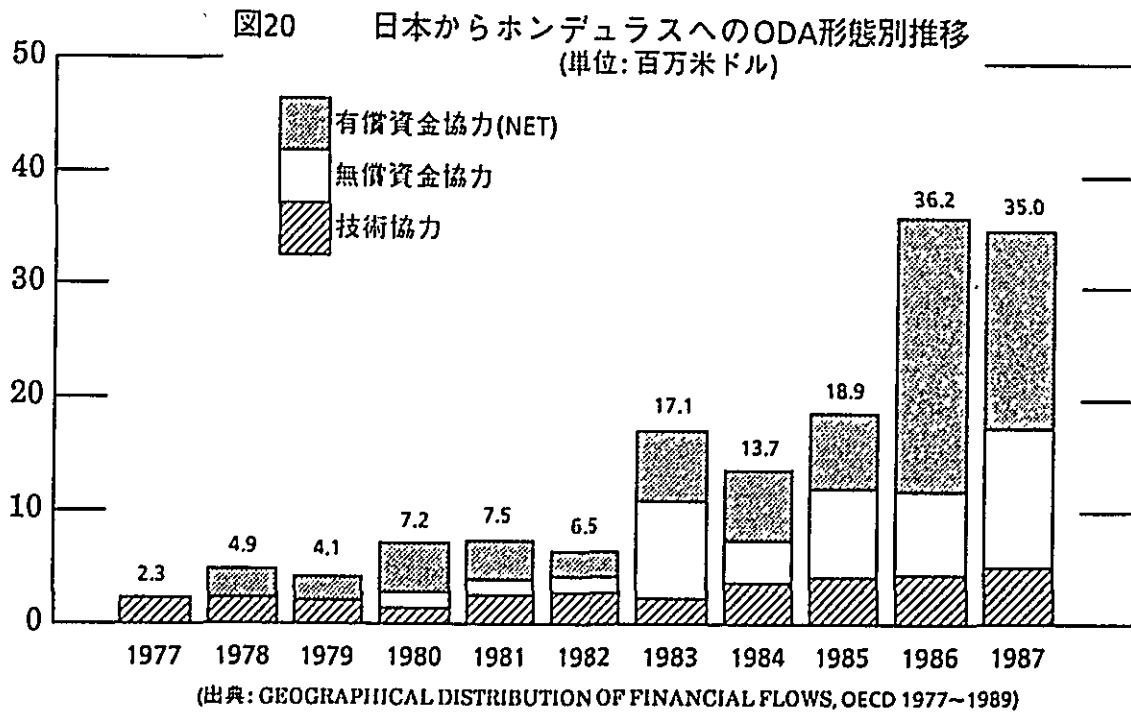


図21 ODAホンデュラスのシェア/日本のシェア

| 百万米ドル | シェア | 年 | 百万米ドル | シェア |
|-------|-------|------|--------|------|
| 57.0 | 4.0% | 1977 | 899.3 | 0.3% |
| 92.5 | 5.3% | 1978 | 1531.0 | 0.3% |
| 97.0 | 4.2% | 1979 | 1921.2 | 0.2% |
| 103.0 | 7.0% | 1980 | 2010.1 | 0.4% |
| 109.3 | 6.9% | 1981 | 2260.4 | 0.3% |
| 158.1 | 4.1% | 1982 | 2367.3 | 0.3% |
| 187.0 | 9.1% | 1983 | 2425.2 | 0.7% |
| 285.7 | 4.8% | 1984 | 2427.4 | 0.6% |
| 272.6 | 6.9% | 1985 | 2556.9 | 0.7% |
| 283.5 | 12.8% | 1986 | 3846.3 | 0.9% |
| 258.4 | 13.5% | 1987 | 5247.6 | 0.7% |

ホンデュラスから見た日本のODAシェア 日本から見たホンデュラスへのODAシェア

(出典: GEOGRAPHICAL DISTRIBUTION OF FINANCIAL FLOWS, OECD 1977~1989)

表8 我が国のホンデュラスに対する経済技術協力実績

| | | ～1986年度 (累計) | 1987年度 | 1988年度 |
|---------------------------------|----------------------------|-------------------|------------------|------------------|
| 政府 開 発 援 助 (ODA) | 技 術 協 力 | 5,596百万円 | 814百万円 | 934百万円 |
| | 経 費 | | | |
| | 研 修 員 受 入 | 205人 | 26人 | 32人 |
| | 専 門 家 派 遣 | 58人 | 6人 | 10人 |
| | (国際協力事業団ベース) | | | |
| | 単 独 機 材 供 与 | 241百万円 | 30百万円 | 58百万円 |
| | 青 年 海 外 協 力 隊 | 263人 | 32人 | 42人 |
| | 開 発 調 査 | 11件 | 2件 | 2件 |
| | プ ロ ジ ェ ク ト 方 式 技 術 協 力 | 1件 | 1件 | 1件 |
| | 無 償 資 金 協 力 | 9,204百万円 (21件) | 2,645百万円 (4件) | 3,074百万円 (5件) |
| 有 償 資 金 協 力 | 27,149百万円 (6件) | 0百万円 (0件) | 0百万円 (0件) | |
| 対 外 直 接 投 資 (非 ODA) | 22百万米ドル (11件) | -百万米ドル (件) | -百万米ドル (件) | |

(出典; 国際協力事業団資料および財政統計金融月報, 大蔵省)

注1 金額は無償資金協力と有償資金協力は交換公文ベース、技術協力はJICA経費実績ベース、対外直接投資は届出ベース、
人数は新規実績ベース(継続含まない)である。

注2 非ODAの - は財政統計金融月報に記載なし(1951～88年累計1億ドル未満)

4-2 分野別経済・技術協力実施状況

- 凡例 1) 調査の対象となる案件は、昭和54年度(1979年)から昭和63年度(1988年)の間に実施された、あるいは計画されている主要プロジェクト案件とした。(一部1989年度案件については、88年度の欄に*印で表記した。)
- 2) 金額は、各年度ごとの実績額を100万円単位に示した。無償資金協力についてはE/Nベース、有償資金協力についてはL/Aベースの金額を示す。
- 3) 無償資金協力についてE/N、有償資金協力についてL/A締結の日付を示した。災害無償については開議発言の日付を示した。
- 4) 単年度の金額実績が100万円未満の案件については記載しなかった。

| | | | |
|-------------------------|--------------------------|--------------------|-----------------------|
| 開調 123 | 開発調査 -金額 | 一般無償 123 | 一般無償援助 -金額 |
| 海開 | 海外開発計画調査 | 88 1 1 | -E/N日付 |
| 資開 | 資源開発基礎調査 | 水産無償 | 水産関係援助 |
| 開協 | 開発協力基礎調査等 | 文化無償 | 文化無償援助 |
| 融資承諾 | 融資承諾 | 食増無償 | 食糧増産援助 |
| [プロジェクト方式技術協力] | | 災害無償 | 災害関係援助 |
| 事前 123 (3) | 事前調査 -機材金額 -派遣専門家数 | 食糧無償 | KR食糧援助 |
| 実協 | 実施協議 | 債務無償 | 債務救済無償援助 |
| 計打 | 計画打合 | B/D | 基本設計調査 |
| 巡指 | 巡回指導 | 有償 123 | 有償資金協力(政府直接借款) -金額 |
| 実設 | 実施設計 | 88 1 1 | -L/A日付 |
| エバ | エバリュエーション | E/N | 交換公文 |
| 機修 | 機材修理 | L/A | 貸付契約 |
| アケ | アフターケア | | |

1- 計 画 ・ 行 政

| | プロジェクト名 (サイト) | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 |
|-----|---|----|----|----|----|----|----|----|----|----|--------------------------------|
| 1-1 | コバン川下流域開発計画 (コバン川流域) ーコバン川総合開発計画のモデル地区に対し諸施設を整備。 | | | | | | | | | | B/D |
| 1-2 | 消防機材整備計画 (テグシガルバ) ーテグシガルバ市全域を対象とした消防車、給水車等各種消防機材の供与。 | | | | | | | | | | * 一般無償 700 89. 413 |

2- 公 共 ・ 公 益 事 業

| | プロジェクト名 (サイト) | ~79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 |
|-----|--|---------------------|----|----|----|--|----|--------------------------------------|----|----|----|
| 2-1 | <p>テグシガルバ 新空港建設計画 (テグシガルバ)</p> <p>ー首都テグシガルバは、鉄道の便はなく、道路整備も不十分である。特に遠距離交通手段は航空に求める以外ない。ゆえにジェット機による運用可能な新空港の建設を計画。ドラフト最終レポートの現地説明。</p> | <p>開削</p> <p>35</p> | | | | | | | | | |
| 2-2 | <p>電気通信拡充事業 (広域)</p> <p>ーテグシガルバを初めとする主要11都市に対し、電話交換機の新増設によって電話設備を拡充し、当該地域の電話積滞の解消及び今後の需要への対応に寄与。 条件 30(10)、3.50、LDCアンタイド</p> | | | | | <p>有償</p> <p>7,026</p> <p>83.</p> <p>10.18</p> | | | | | |
| 2-3 | <p>全国道路網整備事業(開発資機材) (広域)</p> <p>ー全国道路網の整備建設を行い、対象地域の民生安定、農業生産地域と消費地域間の流通システム向上に寄与。 条件 30(10)、4.00、LDCアンタイド</p> | | | | | | | <p>有償</p> <p>7,971</p> <p>85 8.2</p> | | | |

3- 農 林 水 産

| | プロジェクト名 (サイト) | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 |
|-----|---|----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|--|-----------------------------------|-------------------------------------|----------------------------|----------------------------|--|--------------------------|
| 3-1 | 水産資源調査 (広域) -大西洋海域の漁業振興計画樹立に必要な水産資源調査、協力分野策定等を行うことを目的に海上調査を実施。 | 開調 6 | 開調 6 | 開調 103 | 開調 46 | 開調 5 | | | | | |
| 3-2 | 林業資源調査 (バライソ、モスキーティア) -同地域における森林資源の賦存状況を調査し、開発方法の策定等について協議を行うとともに資料の収集を実施。 | 開調 16 | 開調 26 | 開調 109 | 開調 145 | | | | | | |
| 3-3 | 食糧増産援助 (広域) -農業の振興を重視し、基礎穀物および主要野菜の生産性を高めるため、肥料、農業機械の供与。 | 食増無償 300 80. 1.15 | 食増無償 300 80. 12.16 | 食増無償 300 81. 10.23 | 食増無償 300 82. 9.17 | 食増無償 500 83. 11.25 | 食増無償 600 84. 9.4 | 食増無償 600 85. 9.2 | 食増無償 600 86. 12.9 | 食増 200 87. 4.28 食増 600 88. 1.15 | 食増 600 88. 12.8 |
| 3-4 | 農業開発研修センター (コマヤグァ市(テグシガルバより北80km)) 建設計画(83.7.1~90.6.30) -①農業開発センターの設立②天然資源省出先機関、普及組織、農民指導者等に対する研修③農業従事者の意識改革、生活水準の向上に寄与。昭和58年度センターの建設開始、59年完工。又、試験圃場の整備を実施。 | | | | 一般無償 800 82. 6.28 開調 12 | 一般無償 800 83.7.6 開調 19 | 実協 計打 123 (4) 12 (5) | 逕指 84 (3) | 逕指 18 (6) | エバ 56 (2) | 逕指 56 (6) |
| 3-5 | アグアン川流域農業 (北部アグアン川中流域) 開発計画 -中流域23,000haを対象にかんがい排水システムの改良、新設等の農業開発、牧畜・アザロインダストリーの導入、道路等の整備を図るための計画策定。昭和59年度は地形図作成と第二次本格調査を実施。 | | | | | 開調 3 開調 65 | 開調 201 | 開調 6 | | | |
| 3-6 | チヨルテカ川流域農業 (チヨルテカ川) 開発計画補完調査 -1978年に実施したFAS調査の補完調査。 | | | | | 開調 51 | | | | | |
| 3-7 | 農村総合開発モデル (チヨルテカ県、バリエ県) 事業計画 -基礎穀物の増産および輸出農産物の生産拡大を目標とし、開発の遅れている南部地域にかんがい排水設備等の建設と機械の供与。 | | | | | 開調 5 | 開調 46 一般無償 850 85.9.2 | 一般無償 826 86. 8.19 | | | |

← プロジェクト方式技術協力

3- 農 林 水 産

| | プロジェクト名 (サイト) | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 |
|-----|--|----|----|----|----|----|----|------------------------------|----|----|-----------|
| 3-8 | <p>チオルテカ川流域農業開発 (チオルテカ川) 事業</p> <p>ー上流にかんがい用ダムを建設し下流のチオルテカ平野のかんがい施設の整備を行い、農業生産性の向上に寄与。 条件 30(10)、4.00、LDCアンタイド</p> | | | | | | | <p>有償 1,651 8582</p> | | | |
| 3-9 | <p>コヨラルダム灌がい復旧計画 (コマヤグア盆地)</p> <p>ーコマヤグア盆地のフローレンス灌がい区の改善計画を策定し、その水源であるコヨラルダムを復旧。</p> | | | | | | | | | | <p>開闢</p> |

4- 鉱工業・エネルギー

| | プロジェクト名 (サイト) | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 |
|-----|---|-----------|-------------------------|----|----|----------------------------|----|----|----|----------|----|
| 4-1 | 西部地区資源開発協力 (チャメレコン川流域) 基礎調査 ーチャメレコン川流域の約1,200km ² の地域で、地質調査、ボーリングを実施。鉱物資源賦存状況を調査。 | 資開 141 | | | | | | | | | |
| 4-2 | エル・カホン水力発電所建設 (エル・カホン) 事業 ー北西部ウムヤ川にアーチ式ダムを建設、発電機4基を設置し、発電を行うとともに下流地域の洪水制御を行う。 条件 30(10)、3.50、ゼネラルアンタイド | | 有償 7,800 80 44 | | | | | | | | |
| 4-3 | フォローアップ調査 (広域) ー資源開発協力基礎調査を終了した西部地区を対象に、調査の評価等に関し、相手国政府機関と協議。 | | 資開 7 | | | | | | | | |
| 4-4 | カニャベラル水力発電所 (テグシガルバ北西 140km) 拡張事業 ーカニャベラル水力発電所に発電機一基を増設することにより、同国の電力需給のギャップ解消に寄与。 条件 30(10)、3.50、LDCアンタイド | | | | | 有償 2,701 83 10.18 | | | | | |
| 4-5 | コマヤグア県地下水開発計画 (コマヤグア県) ー生活用水供給を目的とした地下水開発計画策定のため、本格調査を実施。 | | | | | | | | | 資開 60 | 資開 |

6- 人 的 資 源

| | プロジェクト名 (サイト) | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 |
|-----|--|----|----|----|----|----|-------------------------------|----|----------|---|----|
| 6-1 | ホンデュラス歴史人類研究所 (コバン遺跡) に対する遺跡保存機材 -コバン遺跡の発掘調査および保存事業を支援するために、車両、測量機材、撮影用機材等を供与。 | | | | | | 文化 無償 50 84. 5.17 | | | | |
| 6-2 | 国立教育実践研究所建設計画 (首都南部コロニア・デル・ロアルケ) -教育水準の向上を図り、教員再教育のための施設の建設計画を策定し、設備・機材等の供与。 | | | | | | | | B/D 5 | B/D 35 一般 無償 1,503 88. 1.15 | |
| 6-3 | 国立自治大学に対する (テグシガルバ) 視聴覚機材 -ビデオ撮影・再生機材、フィルム・プロジェクトの供与。 | | | | | | | | | 文化 無償 39 87. 5.28 | |
| 6-4 | 第四回中米オリンピック組織 (広域) 委員会に対する体育機材 -体育機材の供与。 | | | | | | | | | 文化 無償 42 88.8.8 | |
| 6-5 | 文化観光省に対する楽器 (広域) -楽器の供与。 | | | | | | | | | 文化 無償 32 89.1.6 | |

7- 保 健 医 療

| | プロジェクト名 (サイト) | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 |
|-----|---|----|----|----|-----------------------------------|----|--|----|-------------------------------|--------------------------------|--|
| 7-1 | マラリア、およびデング熱 抑制計画 (広域) 一熱帯地方特有の疫病から国民の健康を保護するため必要な機材(殺虫剤、小型顕微鏡、スプレー用車両等)の供与。 | | | | 一般 無償 5,300 82. 12.24 | | 一般 無償 450 85. 2.20 | | 一般 無償 450 86. 4.3 | 一般 無償 500 87. 9.10 | |
| 7-2 | テグシガルバ母子病院機材 整備計画 (テグシガルバ) 一首都圏市民の母子医療サービスの向上を図るため、医療機材の供与。 | | | | | | 開調 9 一般 無償 524 84. 12.20 | | | | |
| 7-3 | 地域中核病院医療機材整備計画 (広域) 一地域医療サービス向上のための、9地域中核病院の医療機材整備および施設の拡充。 | | | | | | | | | | B/D 一般 無償 1,642 88 11.3 |

8- 社 会 福 祉

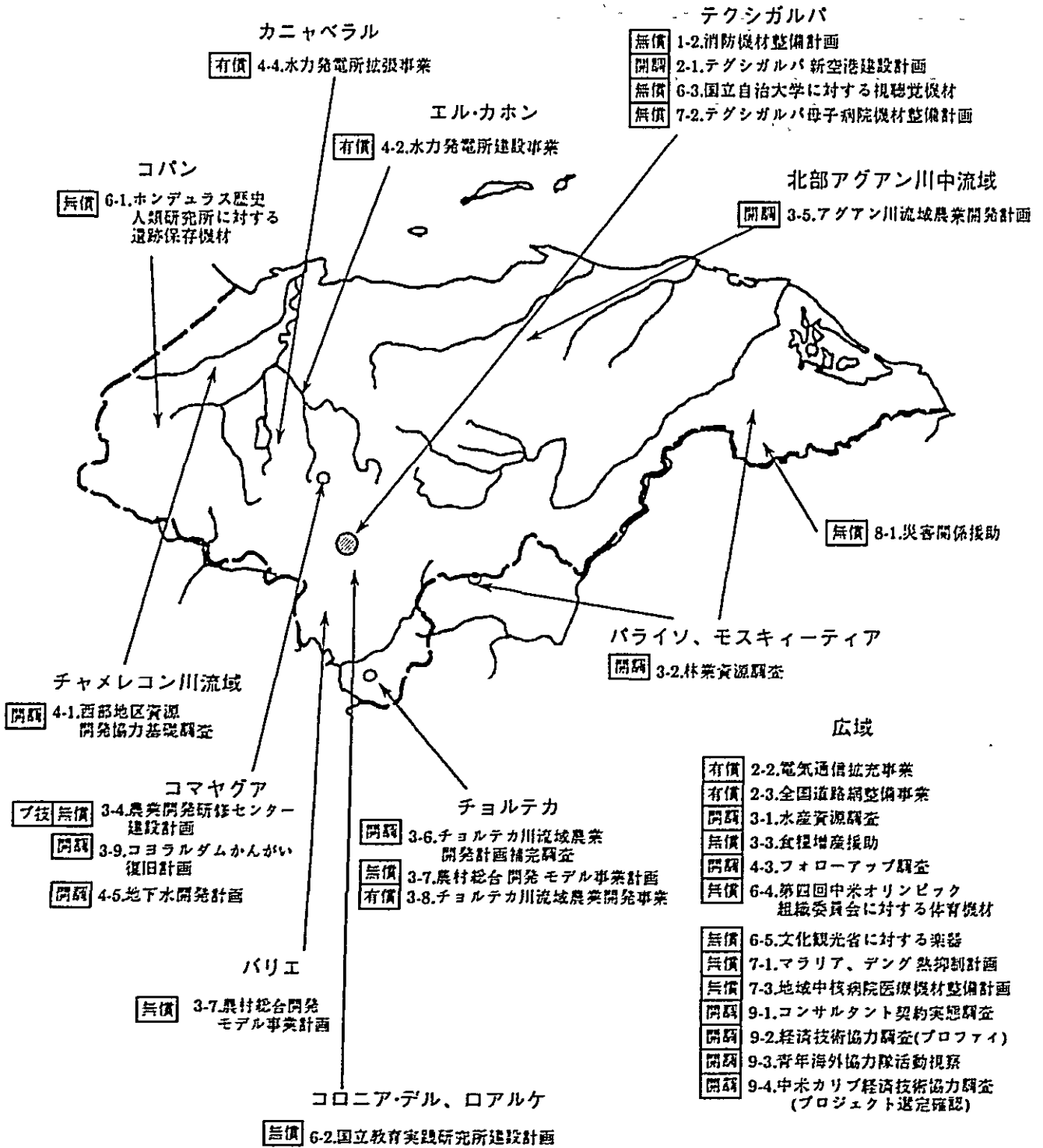
| | プロジェクト名 (サイト) | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 |
|-----|--|----|----|----|-------------------------|----|----|----|----|----|----|
| 8-1 | 災害関係援助 (ニカラグアとの国境地帯) 一ニカラグアとの国境地帯に発生した洪水の被害救済のため、同国政府に対し、現金5万ドル拠出。 | | | | 災害 無償 17 82.69 | | | | | | |

9- その他

| | プロジェクト名 (サイト) | 79 | 80 | 81 | 82 | 83 | 84 | 85 | 86 | 87 | 88 |
|-----|---|----|----|----|--------|--------|--------|--------|----|--------|----|
| 9-1 | <p>コンサルタント契約実態調査 (広域)</p> <p>－コンサルタント契約に係わる諸規程を整備し、適正な契約の締結および契約事務の合理化を図るもので、訪問調査をおこない、報告書を作成。</p> | | | | 閉 1 | | | | | | |
| 9-2 | <p>経済技術協力調査(プロファイ) (広域)</p> <p>－我が国の経済技術協力の仕組みを説明し、今後の協力案件を発掘。</p> | | | | | 閉 1 | 閉 2 | | | | |
| 9-3 | <p>青年海外協力隊活動視察 (広域)</p> <p>－学識経験者等の参加を得て、現地における隊員活動について視察、意見交換をおこない、報告書を作成。</p> | | | | | | | 閉 3 | | | |
| 9-4 | <p>中米カリブ経済技術協力調査 (広域) (プロジェクト選定確認)</p> <p>－我が国の経済協力の効果的実施を促進するため、各国政府および国際機関との対話を通じ、優良案件の発掘調査を実施。</p> | | | | | | | | | 閉 1 | |

対ホンデュラス経済・技術協力案件配置図

(1979年度～1988年度)



[図表リスト]

- 図1 概要図/3
図2 位置図/4
図3 行政区分図/4
図4 都市化率/4
図5 生産の構造/4
図6 援助主体別ODA推移/8
図7 援助形態別ODA推移/8
図8 援助形態別、主要援助国および国際機関の援助額推移/9
図9 援助形態別ODAのシェア/10
図10 主要援助国・国際機関別ODA推移/11
図11 年表/12
図12 ホンデュラスへのODA/13
図13 ホンデュラスへの技術協力/13
図14 ホンデュラスへの無償資金協力/14
図15 ホンデュラスへの有償資金協力/14
図16 米国の対ホンデュラスODA、OOFおよびグラントエレメント/15
図17 西ドイツの対ホンデュラスODA、OOFおよびグラントエレメント/15
図18 スイスの対ホンデュラスODA、OOFおよびグラントエレメント/16
図19 I.D.B.の対ホンデュラスODA/16
図20 日本からホンデュラスへのODA形態別推移/22
図21 ODAホンデュラスのシェア/日本のシェア/22
- 表1 GDPの産業部門別成長率目標/6
表2 公共投資計画/6
表3 1988年度予算/6
表4 米国の主要プロジェクト/17
表5 西ドイツの主要プロジェクト/18
表6 スイスの主要プロジェクト/19
表7 I.D.B.の主要プロジェクト/20
表8 わが国のホンデュラスに対する経済技術協力実績/24

- 参考表1 1984年対ホンデュラス政府開発援助およびその他の政府資金の流れ実績総括表
参考表2 1985年対ホンデュラス政府開発援助およびその他の政府資金の流れ実績総括表
参考表3 1986年対ホンデュラス政府開発援助およびその他の政府資金の流れ実績総括表
参考表4 1987年対ホンデュラス政府開発援助およびその他の政府資金の流れ実績総括表
参考表5 対ホンデュラス、国際機関からの資金の流れ実績総括表

[参考資料]

各国共通

1. 国際協力事業団年報 1976~1988 ; 国際協力事業団
2. 国際協力事業団事業実績表 昭和56年~62年 ; 国際協力事業団
3. 我が国の政府開発援助 1989 ; 外務省 経済協力局 編
4. 経済協力の現状と問題点 1988 ; 通商産業省
5. Geographical Distribution of Financial Flows to Developing Countries 1978~89 ; OECD
6. World Development Report 1989 ; World Bank

国別

- (1) LA GACETA Diario Oficial de la Republica de Honduras
- (2) SINTESIS DEL PLAN NACIONAL DE DESARROLLO 1987-1990; FEBRERO, 1987
- (3) Honduras en Cifras 1985-1987; BANCO CENTRAL DE HONDURAS
- (4) COOPERACION PARA EL DESARROLLO HONDURAS; UNDP INFORME 1987
- (5) BOLETIN ESTADISTICO Julio-1988; BANCO CENTRAL DE HONDURAS
- (6) MAPA GENERAL República de Honduras
- (7) ODA関連プロジェクトサイト地図(無償)
- (8) 青年海外協力隊員配置図
- (9) ホンジュラスの対外債務の記事

○JICAとUNDP分野区分対照表

| JICA分野区分 | | UNDP分野区分 | |
|------------|---------|--|--|
| 1. 計画・行政 | - 開発計画 | 02 - General development issues, policy and planning 03 - Natural resources 07 - International trade and development finance | Development strategic policies and planning Land and water (一部) Development finance and monetary problems |
| | - 行政 | 01 - Political affairs 02 - General development issues, policy and planning 08 - Population 14 - Social conditions and equity 15 - Culture | General international law Trusteeship, decolonization and apartheid (一部) General statistics Public administration Population dynamics (一部) Prevention of crime and drug abuse Communication and mass media |
| 2. 公共・公益事業 | - 公益事業 | 03 - Natural resources 10 - Health | Land and water (一部) Environmental health (一部) |
| | - 運輸・交通 | 06 - Transport and communication 16 - Science and technology | Policy and planning (一部) Air transport Land transport Water transport and shipping Meteorology |
| | - 社会基盤 | 03 - Natural resources 09 - Human settlements | Cartography Settlements planning Housing and infrastructure |
| | - 通信・放送 | 06 - Transport and communication 15 - Culture | Policy and planning (一部) Postal services Telecommunication Communication and mass media |
| 3. 農林水産 | - 農業 | 03 - Natural resources 04 - Agriculture, forestry and fisheries | Land and water (一部) Biological resources (一部) Agricultural development support services Crops |
| | - 畜産 | 04 - Agriculture, forestry and fisheries | Livestock |
| | - 林業 | 03 - Natural resources 04 - Agriculture, forestry and fisheries | Land and water (一部) Biological resources (一部) Forestry |
| | - 水産 | 03 - Natural resources 04 - Agriculture, forestry and fisheries 16 - Science and technology | Biological resources (一部) Fisheries Oceanography (一部) |

| | | | |
|--------------|---------|--|--|
| 4. 鉱工業・エネルギー | - 鉱業 | 03 - Natural resources 16 - Science and technology | Land and water (一部) Mineral resources Oceanography |
| | - 工業 | 05 - Industry | Industrial development support services Manufacturing industries |
| | - エネルギー | 03 - Natural resources | Biological resources (一部) Energy |
| 5. 商業・観光 | - 商業・貿易 | 05 - Industry 07 - International trade and development finance | Industrial development support services Global trade policies Trade in commodities Trade in manufactures Trade promotion and trade in services Other service industry |
| | - 観光 | 05 - Industry | Industrial development support services Tourism and related services |
| 6. 人的資源 | - 人的資源 | 11 - Education 12 - Employment | Education policy and planning Education facilities and technology Educational systems Nonformal education Skills development |
| | - 科学・文化 | 15 - Culture 16 - Science and technology | Cultural preventions and development Protection of authors and performances Promotion of science Development and transfer of technology Oceanography (一部) |
| 7. 保健・医療 | - 保健・医療 | 08 - Population 10 - Health | Family planning Population dynamics (一部) Comprehensive health services Disease prevention and control Environmental health (一部) |
| 8. 社会福祉 | - 社会福祉 | 12 - Employment 13 - Humanitarian aid and relief 14 - Social conditions and equity | Employment promotion and planning Conditions of employment Industrial relations Protection of and assistance to refugees and displaced persons Disaster, relief preparedness and prevention Special humanitarian operation Human rights Social science Welfare and social security Advancement of woman Disadvantaged groups |
| 9. その他 | - その他 | 01 - Political affairs | Political and security activities Special missions Disarmament Trusteeship, decolonization and apartheid (一部) |

○ホンデュラス共和国

